



© 長谷川海

『えんぶ★TOWN』とは

『えんぶ★TOWN』は「作り手」と「観客」が自由闊達に行き交うアートとエンタテインメントの街です。表現に関わる全てのジャンルの人たちといっしょに、新しい仕組みやサービスを開発して「楽しみながら得をする場所」＝ユートピアをつくりだしたいという実験都市です。

インターネットを通じて広範な人々が参加でき、情報や意見の交換、相互支援、商品流通など、それぞれの目的や興味を通じて参加者のつながりを深め、もっともっと使い易く、たのしく、お金も稼げる、自由度の高いコミュニティ作りを目指しています。



© うえのよう

▶ えんぶ★TOWN へ行く

<https://enbutown.com/>

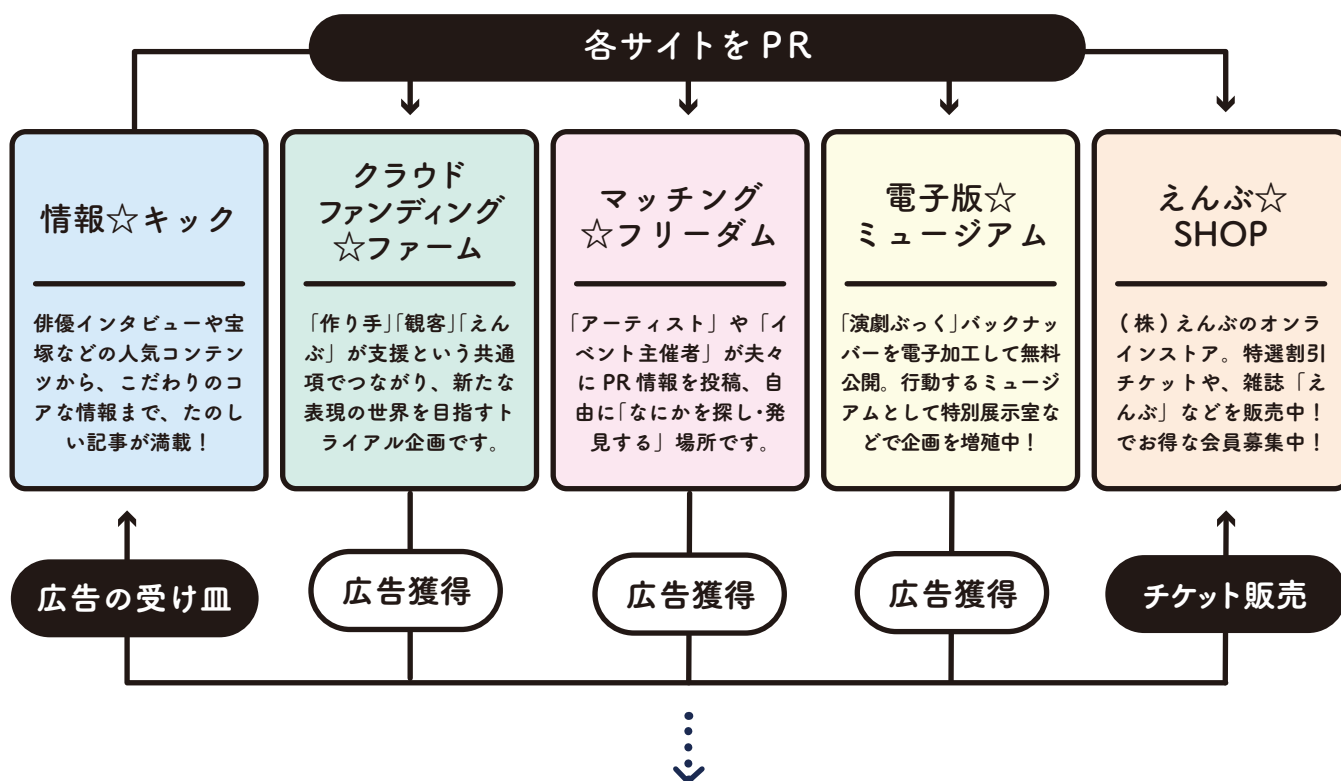
『えんぶ☆TOWN』の構成

『えんぶ☆TOWN』は5つのセクションに分かれています。それぞれのパートが有機的につながり、エポックの連鎖を創り出したいです。ひとつひとつの出来事をたのしみ、積み重ねながら“善き場所”に近づいて行きたいです。

えんぶ★TOWN

Art & Entertainment

『えんぶ☆TOWN』は「作り手」と「観客」が自由に行き交うアートとエンタテインメントの街です。
表現に関わる全てのジャンルの人たちといっしょに、みんなが「楽しみながら得をする場所」をつくりだしたいという実験都市です。



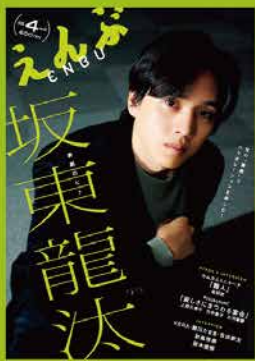
今後の展開

ジャンルを増やす：映像・音楽・文芸・写真・美術・ゲーム・伝統芸能など
グローバルな展開：日本各地のミニマムな情報から、全世界のアートが対象
販売システムの開発：ショッピングモール、セレクトショップ、フリマの運営
情報の発信：情報交換から、TVや新聞などのコミュニケーションツールの作成

ポータルサイト『情報☆キック』

演劇を中心に、俳優インタビューや宝塚などの人気コンテンツから、こだわりのコアな情報まで、たのしい記事が満載！“演劇”から飛び出した新鮮な情報も。

短劇予報 宝塚ジャーナル コラム・エッセイ アーティストの活力源 特集 情報☆キックとは？ 公演チケットで掲載



APR. 2025 no.52

えんぶ

2025 4月号

坂東龍汰 Ryota Bando

表紙

インタビュー KERA・緒川たまき・古田新太 彩風咲奈 阪本奨悟
『鶴人』松村武 『Answer Song』茂山千之丞

最新記事



【ふれあい動物電気】森戸宏明の「立ち喰い蕎麦探訪記」第56回 ―ここは中央フリーウェイにある八王子のオアシス！―
© 2024-11-13



『えんぶ』50号（2024年12月号）ラインナップ
© 2024-11-13



ミュージカル『You Know Me～あなたとの旅～』樋口麻美・吉沢梨絵 インタビュー
© 2024-11-13



舞台「けものフレンズ」JAPARI STAGE!～きみのあしおとがまたきこえた～上演中！ 織田奈那・尾崎由香インタビュー
© 2024-11-13



劇団青年座70周年第4弾『穏やかな人と機(ひととき)』12月に上演！
© 2024-11-13



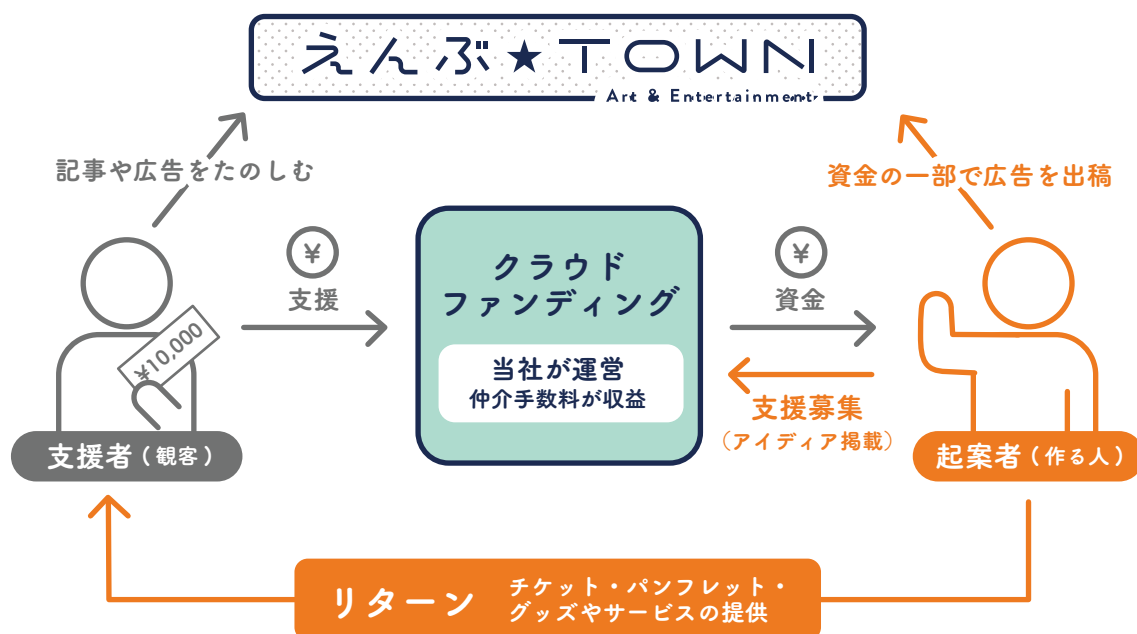
ミュージカル『フラガリアメモリーズ』上演決定！
© 2024-11-13

▶ 情報☆キック へ行く

<https://enbutown.com/joho/>

『クラウドファンディング☆ファーム』

「作り手」と「観客」と「えんぶ☆TOWN」の三者が、“支援”という共通項でつながり、“新しいカタチの表現世界”を生み出したい！トライアル企画です。



“自社の企画”で、実用化のテストを兼ねた本番を実施しました

※2025年1月25日終了



▶ クラウドファンディング☆ファーム へ行く

<https://enbutown.com/farm/>

『マッチング☆フリーダム』

「アーティスト」や「主催者」が夫々に PR 情報を投稿。自由に「何かを探し・発見する」場所です。“同行の友”との出会いをお楽しみいただけます。



漫画でみる『マッチング☆フリーダム』活用例



© 小野寺ずる

▶ マッチング☆フリーダム へ行く

<https://enbutown.com/matching/>

『電子版☆ミュージアム』

「演劇ぶっく」バックナンバーを電子加工して逐次無料公開。「アーティスト名鑑」や「特別展示室」も掲載。行動するミュージアムとして様々な企画を計画中です。

電子版☆ミュージアム

電子版☆ミュージアムとは？ ミュージアムショップ お問い合わせ ▶えんぶ☆TOWN

ENBU TOWN 電子版☆ミュージアム

“演劇をより楽しく！”をテーマに
「演劇ぶっく」「えんぶ」バックナンバーを電子加工して逐次無料公開。
注目の「アーティスト名鑑」や「特別展示室」などのコーナーも設置。

▶ 電子版☆ミュージアムとは？

演劇ぶっく

電子版演劇ぶっく 逐次無料公開！

1984年に創刊した演劇ぶっく182冊をPDF化。『小劇場演劇』と呼ばれムーブメントの先駆けとなった記録を毎月一冊ずつ無料公開！

現在の無料公開号を見る ▶

アーティスト名鑑 公開中！

旬のアーティストたちが、自身の魅力、活動、趣味、その他なんでもありの画像付きで“自らを”発信！公式のプロフィールではみられない魅力が満載！

アーティスト名鑑を見る 〓

▶ 電子版☆ミュージアム へ行く

<https://enbutown.com/museum/>

『えんぶ☆SHOP』

雑誌『えんぶ』や『えんぶ☆TOWN』の広告で獲得した公演チケットを（弊社が差額を負担して）割引で販売。「作り手」は公演PR・残席予防、「観客」はチケットを安価で購入、「弊社」は売上増、みんなが得をするシステムです。

えんぶ☆SHOP

雑誌『えんぶ』のオンラインストア



『血の婚礼』【5席】
~~11,000円（税込）~~

8,800円（税込）



革命『もえる剣』
~~13,500円（税込）~~

10,800円（税込）



『ミスター・ムーンライト』キャラメルボックス
~~8,000円（税込）~~

6,400円（税込）

▶ えんぶ☆SHOP へ行く

<http://enbu.shop>



ジャンルの拡大から経済圏の創設へ

演劇からはじめジャンルを増やします

表現に関わる様々なジャンル（演劇・映像・音楽・文芸・写真・美術・etc）が交錯していくことでの豊かさをたのしみつつ、多様な人たちがシームレスに交わることで無限大で刺激し合える場所をつくり出します。

ジャンルが増えることによる経済的な効果

扱うジャンルの範囲が広がるので事業領域も広がります。それに伴って各ジャンルを通しての興味を刺激し合い、参加者の動きが活発になり、新たな市場が生まれます。また今ある形をアレンジしていくことで、ジャンルが増えても簡潔に対応できるので、効率よくシステムを増築することができます。

例えば → → →

1

表現分野の各種販売関連の方との協業では、先方が持っているコンテンツを活かせば、そのまま事業の拡大と顧客（「作る人」と「観る人」）へのサービスが生まれ、事業としての収益を追求できます。また、文化事業に対しての貢献として企業の評価が上がります。

2

ジャンル別に個人や組織が得意な分野を分担して進めることにより、顧客（「作る人」と「観る人」）へのコアなアプローチを取ることもできます。

3

現在の事業領域の拡大、顧客へのサービスなどで新たな事業展開をテーマに参加することもできます。

みんなが参加できる経済圏をつくります

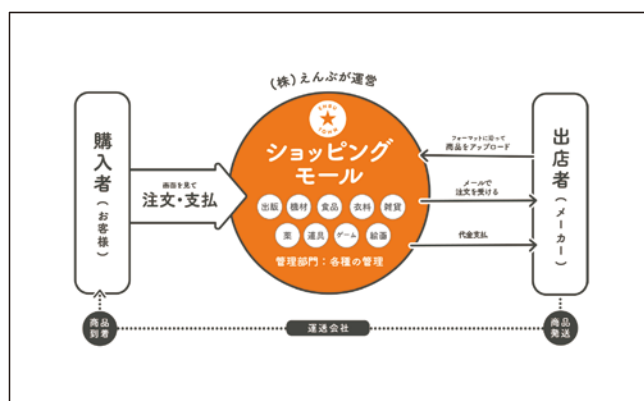
だれでもが参加できる販売システムの開発

表現者やその周辺の人々（企業も）が仕事を獲得したり、作品や商品を作成・販売して経済的な活動ができる場を広げます。また観客側の人びとが良質で安価な商品を便利に購入できる場所を作ります。さらに他分野の良質な商品の市場も視野に入れて商圈を広げます。

1 ショッピングモールの構築

表現にかかわる全産業の人々が参加できるマーケットの構築。

メーカー直送システムを使った表現部門オールジャンルの商店街をつくります。また、現在持っている販売システムに本企画をのせれば、他業界への開拓費用を最小限に抑えつつ販売範囲を拡大できます。



2 アート作品のセレクトショップの構築

休業中のさしいれ屋を改築、こだわりのあるアート商品を販売します。



3 ボックス型アートショップの構築

貸しスペースを設け、作品やグッズなどを気軽に展示・販売できるようにします。個人が売りたいものを気軽に置ける、オンラインの箱貸し的な販売スペースです。

4 フリーマーケットの構築

イベントや生活に役立つ情報を積極的に収集して情報交換の場をつくり、そこから誰でもが参加できるフリマを創り出します。ここでは物だけではない“技術”やアイディアの販売もできます。

5 全国アート & エンターテインメント見本市の開催

全国の良質なエンタメを紹介&販売。各地の小劇場やギャラリーなどを拠点に、特徴のあるイベント & 作品を取り上げて開催します。その中で作品やチケットの販売システムも開発して収益化につなげます。

協業のススメ



“協業”でアイデアの深化や経費を削減

“協業”が街のコンセプト

協業先とは、お互いに持っているノウハウを活かすことで、アイデアの深化や経費的な負担の分割などの利点があり、無理なく事業領域を広げることができます。

異分野のみなさんとも積極的に“協業”します

情報通信技術（ICT）を中心にした異分野のみなさんとも積極的に協業して、新しいサービス、仕組みの展示・販売システムなどで商品・商圈を広げ、収益に繋がる形を開発します。本企画はベーシックな形で構成されていますが異分野のみなさんに参加していただくことで、新しい世界を切り拓きたいと考えています。

よろず相談所などお役立ち“スクエア”を設置

観賞ログサイトでの参加者同士の情報交換から、各種支援情報、お役立ち業種別案内版の作成、ミニコミからマスコミ作りなど、気軽なものから専門的な内容まで便利で使い勝手のよい場を“協業”により収益化を探りつつ作りだします。

“リアル”えんぶ★TOWNの実現も目指します

オンライン上だけでなく、現実の社会でも劇場・イベント会場・練習場・販売所など“街”のコンテンツを生かした現場を“協業”により確保、作品と観客と街が直接出会える場所の実現も目指します。

えんぶ★TOWN
Art & Entertainment

それぞれの想い

表現世界で活躍中のみなさんに『えんぶ★TOWN』を見ていただき、ご意見、ご提案、ご批判を伺いました。ぜひご覧ください！（※50音順 / 敬称略）

▶ “街” へのエールを見る

https://enbutown.com/yell_all/



東憲司
(劇団浅敷童子)



栗根まこと
(劇団☆新感線)



池田美樹
(劇団きらら)



イトウシンタロウ
(NICE STALEKR)



伊藤直子
(セッションハウス)



稲葉賀恵
(文学座)



糸井幸之介
(作家 / 演出家)



上田誠
(ヨーロッパ企画)



植本純米
(俳優)



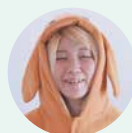
岡田達也
(キャラメルボックス)



小野寺修二
(カンパニーデラシネラ)



帯金ゆかり
(俳優)



笠浦静花
(やみ・あがりシアター)



久住昌之
(まんが家 / 音楽家)



鴻上尚史
(サードステージ)



坂口康司
(彫金作家)



白井晃
(世田谷パブリックシアター芸術監督)



宅間孝行
(タクフェス)



武田操美
(劇団船乃文橋)



土田英生
(MONO)



中村ノブアキ
(JACROW)



藤田俊太郎
(演出家)



林周一
(風煉ダンス)



東山義久
(DIAMOND☆DOGS)



古川健
(劇団チョコレートケーキ)



細川洋平
(ほろびて)



檜原拓
(劇団チャリT企画)



松崎剛也
(劇団サムライナッツ)



益山貴司
(劇団子供鑑人)



松永玲子
(ナイロン 100°C)



松村武
(カムカムミニキーナ)



緑川恵仁
(ネビュラエンタープライズ)



八嶋智人
(カムカムミニキーナ)



真琴つばさ
(俳優 / 元宝塚月組トップスター)



水夏希
(俳優 / 元宝塚雪組トップスター)



洪明花 (みよんふぁ)
(俳優 / 日韓プロデューサー)



山内ケンジ
(城山羊の会)



山納洋
(大阪ガスネットワーク)



大和悠河
(俳優 / 元宝塚宙組トップスター)



横内謙介
(原座)



横山拓也
(演劇ユニット iku)



ラサール石井
(俳優 / 演出家)

私たちの想い

演劇からはじめ多様なつながりで世界を広げます

よりよい作品をつくりたいという表現者の思いや、それに伴う困難、そして作品を創り上げた喜びは多くのジャンルでほぼ共通しているものだと思います。表現に関わる様々なジャンル（映像、音楽、美術など）の人たちがシームレスに交わることで無限大で刺激し合える“新しいカタチの表現世界”をつくり出したいです。

“新しいカタチの表現社会”を生み出したい

情報通信技術（ICT）を活用して新しい仕組みを考え、楽しみながら実行する計画として位置付け「世界で類のないイノベーションに適した街」をつくり出したいです。作る人も見る人も、表現に関わる全ての人たちが、貧富の差・有名無名・男女差別・雇用関係などの様々な関係から起きるハラスメントのない自由で平等な街にしたいです。

文化芸術支援の一翼を担いたい

現在は国・公的機関が主な支援の柱ですが、それに加えて観客や参加者同士の目線で、きめ細かく幅広い自由度の高い支援体制を作りたいです。平常時だけではなくパンデミック時の対応のためにもお互いに支え合えるコミュニティが必要だと考えました。

“表現”をベースにまとめ整理・再構築しました

個々のサイトの企画はすでに経済的にも成立している分野として存在しますが、さらに「“表現”をベース」にまとめ整理・再構築することで、カテゴリーを越えた今までにはない「主催者」「表現者」「観客」に止まらず、「世界中の関連する業界や街の人々」が主体となった豊かなつながりを作り出せると考えました。

出版物の現状

雑誌『えんぶ』履歴と現状

旬の“演劇”とコラボレーションして 39 年

1986 年に創刊した雑誌『演劇ぶっく』の誌名を 2016 年に『えんぶ』と改題、取次店を通して全国の書店で販売しています。ミュージカルなどの大きな公演から小劇場での旬の公演まで、写真とインタビューを中心とした親しみやすい誌面構成で、創刊 39 年目に入りました。



雑誌広告で得たチケットを割引で販売

雑誌『えんぶ』の広告料金を公演チケットで支払っていただき、そのチケットを『えんぶ☆ショップ』で割引で販売しています。「主催者」は公演 PR や残席防止になり、「観客」は安価にチケットを購入でき、「弊社」は売上増になるなど、みなさんに喜んでいただける事業を展開してきました。

電子雑誌『演劇ターン』履歴と現状

電子雑誌『演劇ターン』は雑誌『えんぶ』ではうまく扱えない、けどおもしろい、少しだけコアなアーティストや旬のイベントを動画を多用した構成で紹介しています。臨場感を醸すデザインは号を重ねるごとに電子雑誌とエンタメのコラボレーションの新たな可能性を感じさせ、完成度は上がってきたと思いますが、販売に対しての意識も薄く（人手不足もあり）売れませんでした。そもそもこのスタイルを有料で販売するのが無理なのか、内容に問題があるのか、諸処改善策を検討するため現在休刊中です。



▶ 演劇ターン 3号

https://enbutown.com/engeki-turn/vol_03/



▶ 演劇ターン 4号

https://enbutown.com/engeki-turn/vol_04/



▶ 演劇ターン 5号

https://enbutown.com/engeki-turn/vol_05/

このスタイルを使って映像・音楽・美術などいろいろなジャンルのアーティストともコラボレーションし、『えんぶ☆TOWN』を意識した総合的な雑誌づくりなど、幅の広い展開をしたいと考えています。